

湯河原中学校給食検討委員会（第2回） 会議概要

- 1 日時 令和2年3月19日（木）
- 2 場所 防災コミュニティーセンター 教育委員会大会議室
- 3 委員 湯河原中学校長、小学校長の代表、中学校PTAの代表、小学校PTAの代表、小学校栄養士の代表、教育委員会学校教育課長 学校教育課職員

案件（1）

中学校給食の実施に向けたアンケート調査結果について

第1回湯河原中学校給食検討委員会にてアンケート内容について検討していただき、令和2年1月17日から1月24日までにアンケートを実施しました。調査対象は湯河原中学校1年に在籍する生徒、湯河原中学校に在籍する全生徒の保護者、町内小学校5年から6年に在籍する児童及び小学校1年から6年に在籍する全児童の保護者です。

Q2の昼食時間を増やすための日課変更について

- (1)「始業時間を早くする」全体で賛成が54.9%、児童生徒の賛成が32.33%
- (2)「休み時間を少なくする」全体の賛成が44.82%、児童生徒の賛成24.35%
- (3)「終業時間を遅くする」全体の賛成が52.33%、児童生徒の賛成24.78%

Q3自校調理方式を柱とした給食の実施について

全体での賛成は82.58%、中学生の賛成48.68%、小学生の賛成62.18%
保護者の賛成は93.0%でした。

Q4主な賛成意見・反対意見

児童生徒の賛成意見としては「保護者の負担軽減」131件、「おいしい給食、温かいごはん、栄養のあるご飯を食べたい」125件、「荷物軽減」18件です。保護者の賛成意見として多いものは「おいしい給食、温かいご飯、栄養のあるご飯を食べてほしい」440件、「保護者の負担軽減」233件、「安心安全面などの衛生面を考慮したい」89件、「食育の推進を図ってほしい」84件です。

児童生徒の反対意見は「好き嫌い・アレルギー等の対応に不安」89件、「日課変更不安」56件、「給食室設置不安」22件、保護者の反対意見としては「給食を必要と感しない」14件、「子どもの好きなものを食べさせたい・アレルギーに配慮したものを食べさせたい」13件、「先生や子どもの負担が増えそう」9件でした。

意見・質問等

委員

「児童生徒の反対意見で給食室設置に不安があるとありましたが、小学校の児童が（中学校に）給食施設ができることに対し、何に不安を感じるのでしょうか？」

事務局

「工事が入るのが嫌だなと感じているのでしょうか。制限が入るのが不安ということでは

うか？」

委員

「きちんと生徒に説明をすると不安を払拭できると思います。給食について子どもと話をしたのですが、おいしい給食がいい、デリバリー方式の冷めた昼食や味の濃いお弁当や揚げ物が多いお弁当だったら自宅からお弁当を持っていく方がいいと言います。子どもは東台福浦小学校でしたがいまだに給食を食べたいといっているくらいです。食育の部分でも地産地消をしっかりとやっているとか、子どもは意識しているんだなと思います。しっかりした説明ができれば、反対も賛成に変わると思います。」

委員

「子ども達は、好きなものが食べられるということで弁当がいいと思う人が多いのだと思います。」

委員

「『給食費を払いたくない。』という意見が子どもから出ているのも驚きです。」

委員

「親が苦勞しているのを見て感じたのかもしれませんがね。昼食時間を確保するにあたって子どもの意見を見ると、休み時間を少なくするのはいやだという結果ですね。」

自由記述の意見から

児童生徒の賛成的な意見 56件

- ・給食の方が良い。弁当を作るのが大変だから。
- ・給食の方が栄養を考えているから。
- ・中学校での給食は当たり前だと思う。

児童生徒の否定的意見 39件

- ・食べられないものがある。
- ・準備に時間がかかる。
- ・部活動の時間が減るのはいやだ。

保護者の給食実施についての意見 144件

- ・お弁当では自分の好きなものに食材が偏ってしまうことが多少あります。バランスの良い食事、皆が楽しい食事ができるという意味でも給食にしてください。
- ・すべての子供たちが栄養バランスの良い食材、塩分、糖分なども考えられた食事をいただくことで将来的に生活習慣病のリスクを低減できるのではないのでしょうか。
- ・子どもにアンケートをとると、弁当が良いと回答するが、親としては、栄養バランス、衛生面、色々な食べ物や味を感じて欲しいので給食がいいです。
- ・母親達が何十年も要望し続けて実現しないことがおかしい。発育の活発な時期の子供たちに栄養バランスのとれた温かい昼食を食べさせたいです。
- ・超少子高齢化が進む中、若い子育て世代の人口減を防ぐためにも町の未来を考えて中学校給食を実現するのが良いと思います。
- ・子どもにお金をかけずして町の活性化はありえない。子供を大事にする町に。

- ・給食をやれない理由をさがさずに、スピード感を持って動いてください。
- ・どの親と話しても給食を早急に実現してほしいという願いは共通。

保護者のアンケートについての意見 45件

- ・何年もアンケートをとっていますが、全く実現しません。
- ・給食を実施する気がないならアンケートもやめてほしい。
- ・アンケートばかりでなく行動に移してほしい。

保護者の給食費についての意見 29件

- ・1か月20日間で給食費が5,000円になったとしても、1食250円です。経済的にも、時間的にも保護者の負担がかなり減ると思います。
- ・5,000円程度でバランスのとれた給食なら助かる。

保護者の自校調理方式以外の検討についての意見 16件

- ・(自校調理方式が理想だが、)とりあえず、湯河原小学校の給食室で作ったものを湯河原中学校に運ぶのが早いと思います。
- ・給食センターからという選択肢はないのでしょうか。自校調理方式となると先延ばしになるので。

保護者の給食以外の事業についての意見 16件

- ・海岸沿いに義務教育施設があるのがダメ。
- ・子どもが少なくなる中、今さら給食室を設置しなくてもよい。体育館を治す等がよい。

保護者の日課・昼食時間についての意見 16件

- ・昼食後の昼休みを兼用としてもよいし、夏は登校時間を早くしてもよい。
- ・今のお弁当時間20分も、子供は短いと感じていて時間内に食べきれないから量を減らしてほしいと言われます。
- ・昼食20分でも短いと思う。早食いになったり、食べることができなかつたりする。
- ・給食にして少し時間を取ってもらい食育についても指導していただけるとありがたい。

保護者の食堂・購買・選択メニュー等についての意見 11件

- ・毎日弁当は本当に無理。中学校に購買のようなものはあるのでしょうか。
- ・好き嫌いもあるので、メニューを選択制にできたらよい。(2種から選択)
- ・給食を各教室でとるのではなく学食形式を検討してみたいはかがでしょうか。

保護者の給食費徴収方法についての意見

- ・給食費の徴収方法についても検討してほしい。・口座振替を希望します。
- ・未納の方へはしっかり徴収してほしい。

保護者の実施できない理由の説明について

- ・何年も前から中学校給食の検討をされていて実施できないことは不安。実施できなかった際には、保護者に説明してほしい。

保護者の自校方式調理についての意見

- ・給食を実施するのであれば自校調理方式が良いです。
- ・給食センターから届けてもらうのであればお弁当でいいです。

意見・質問等

委員

「アンケートには、もううんざりと感じている家庭も多いのではないのでしょうか。今回はやる方向ですか。また、業者さんが入って設置について検討とは何を検討するものですか。」

事務局

「給食施設を学校敷地内に作るならばどこに作るのか検討してもらいます。」

委員

「このペースだといつぐらいに給食を実施できますか。」

事務局

「時期は決まっていません。平成26年に実施したアンケートでは、費用負担が大きいので、すぐに実施できるデリバリー方式を検討したらどうかとなり、2回目のアンケートを実施しました。しかし、デリバリーに特化したアンケートでは、子供たちは嫌だという意見でした。アンケートは5年間で3回目ですが、同じアンケートをとっているわけではありません。給食を実施するつもりですが、確認をするためです。合議で決めていくことなので、微妙な子どもの数字をどう判断していくかです。」

委員

「今回のアンケートでは、児童生徒及び保護者ともに給食実施について賛成が上回ったという事でいいですね。前回自校調理方式で実施する莫大な費用というのはいくらの見積もりだったのでしょか。」

事務局

「初期投資は4億から5億位だったと思います。まさにそこになってしまいますが、前回の会議と同じであの校舎がいつまでもつのか、あの場所に建てるのかという議論を永遠に繰り返すことになってしまいます。みなさんが給食を望んでいるのに、いつまでも実施できないことになってしまいます。」

委員

「自校調理方式がいいと私も思いますが、保護者はいくらかかるか知らないですよ。これくらいかかるとわかったとき、他の方法を考えようとなるかもしれません。保護者としてはいくらかかるというデータも示してほしいです。」

委員

「4億という数字が示されても、保護者としてはそれが是か非か言えないと思います。アンケートにも、デリバリーではどうかという意見もありますが、前のアンケートでこんなに反対があったんですよとなります。ここは、町として、芯を通し、子供を大切にしたいというビジョンをもって進めてほしいです。」

事務局

「中学生のアンケート結果が残念なことになってしまいましたが、このまま進めていってもよいでしょうか。」

委員

「子育て支援という意味で、この時代、給食は必要だと思います。しかし、一番心配なのは、

アレルギーの問題です。養護教諭、栄養士が家庭と連絡を取りあって細心の注意を払っていますが、最前線の担任は食事どころではありません。そういう状況であることを知ってほしいです。」

委員

「アレルギー児は着実に増えていますね。」

委員

「給食に反対の生徒の意見に多いのは『食べられないものがある』です。苦手なものを給食で食べさせられた子どもが好きなものが食べられるお弁当がいいなとっているんです。お弁当には教育的な意義がありますが、保護者の大変さもあるし、いろいろな理由を羅列してもやりにくいので、町としてこういう方針で給食をやると始めればよいと思います。」

事務局

「発端は給食をやるつもりのアンケートです。過去の結果にならないように、確認をしたいということです。」

委員

「今回、反対意見を書いた子ども達に丁寧な説明をし、納得してもらうことが課題です。食べるのは子ども達なので。それと同時に先生方も不安に思われているかもしれないので説明をしていく必要があるのでは。」

委員

「なくはないかもしれませんが、大方は給食が入るとなると職員は喜びますよ。ただ、場所はどこだろうと心配かもしれませんね。」

委員

「多くの先生は給食のある学校を経験しているのでなじむのは早いと思います。給食の方がいいと思います。」

委員

「私は小中学校を経験し、湯河原町の給食のおいしさに感動しました。自校調理の良さはセンターと比べると明らかです。」

委員

「アンケート結果的に給食実施で問題ないと確認はできましたね。」

委員

「町のビジョンが必用だというのが検討会の一つの意見ですね。」